

『グレート大阪市全図』

昭和3年 岡久三郎（著） 八尾商会 76×52 cm 関西大学図書館蔵

「御大典記念新版 大阪府廳丁御認可 グレート大阪市全図 史跡数百説明・皇陵巡拝表・町名索引 一般案内地図 史跡案内地図 都市計画路線 明細併用地図」と表題に書かれている。この年、昭和天皇即位の大典が各地で開催された。袋入りで、袋裏面には、「…グレート大阪は都市計画上更に大に変化せんとしつつある。本地図は此に鑑み、過去の珠玉の名蹟を明にし、現在の複雑なる市中案内に便じ、更に将来の大阪を指示せんとす。」とし、「敢て之を市民各位は固より、広く大阪研究者巡覧者にも推奨する所以である。」と著者の識語が印刷されている。

区ごとに色分けされ、各区内の史跡に通し番号があり、裏面に説明がある。たとえば、港区では「⑥市岡パラダイス 市岡土地会社経営地で娯楽設備多し 本区には他にも二三娯楽場があり旧態一変した。」、南区では「⑬泊園書院 竹屋町。高松藩士藤澤東咳淡路町に泊園塾を開き南岳家をつぎ大正九年此に移る。大阪の文化に貢献すること多大、父子の墓は生玉延齡寺内に有り。」とある。浪速区では「⑯新世界 地域三万坪三方市電線路に包まれ東は天王寺公園に接す。明治四十四年頃より俄に発展一大歓楽街と化し高四十一間の通天閣を始めとし国技館等娯楽の設備に枚挙なく四時昼夜市民大衆の為に利用せらる。」と説明され、霞町停留場東側に「国技館」、公園南口停留場前に「噴泉浴場」と記載されるが、今のスパワールドのあたりである。娯楽地としては、港区に「⑨安治川遊園 市電幸運橋東の私営の遊園で将来西大阪の大娯楽場とならん勢である。」がある。

その他、興味を引くのは、木津川河口北側の「日本航空飛行場」で、「⑱国際飛行場」と記載があり、「木津川尻船町。海を控へ形勝の地を占む 神戸の川西清兵衛の特志で生れ大正十二年創立後著々として斯界に貢献す 広大な飛行場は国際飛行場『オホサカ』と標識せられ 近く上海大連間郵便飛行路を開くといふ。」と説明されている。この地図の史跡の一部はすでに跡形もなくなっているようだが、この地図を片手に昭和3年の史跡巡りも楽しいだろう。

橋の名前も詳しく、川の名前も記載され、環状線東側に流れていた猫間川、芦原橋を東西に流れていた鼬川もある。

関西大学は福島学舎が記載され、現在の関西大学北陽高校が「北陽商業」として記載されている。天六学舎は地図発行の翌年昭和四年開学となるが、地図上ではまだ長柄墓地と葬儀所となっている。

裏面には、「総説」、「史跡説明」、「大大阪都市計画路線」、「町名索引」、「主要橋名索引」、「皇陵巡拝附近畿名所巡覧」がある。

